

ネクシィーズ・近藤太香巳社長が講演

「新人」でなく「プロ1年目」

次代人財養成塾 One-Will

未来を担う若者を育てる大学生向けの「次代人財養成塾One-Will」（主催・秀實社、協力・産経新聞社）は、ネクシィーズの近藤太香巳社長を特別講師に迎え講演を開いた。演題は「人が輝けば企業が輝く～夢は大きへ、努力は足元へ」。約60人の学生に「成功者とは成長者だ」と訴えた。一部を再現する。

大学生はみんな、こんなふう
に悩んでいる。将来、何をしたら
いいかわからない。自分が何
に向いているのかわからない。
会社説明会に出かけても、いろ
いろ話を聞かされてさらに分
からなくなる。そして「やる気
はあるんです。でもどう選んだ

らいいかわからない」と言う。
分からなくて当然だ。突然、
「就活」って言われても無理
だ。じゃあどうやって就職先を
決めるのか。よさそうな業界で
決めるのか？ 企業規模が大き
いか、小さいかで決めるのか？
お父さんが薦めるところ？
誰かが「お前に向いてる」と
言ってくれたところか？
答えを言う。自分で決めるん
だ。どうやって？ 感性で決め
るんだ。感性ってなんだ？
いいか、これが一番大事なと

こんどう・たかみ 2度の高
校中退を経て19歳で創業。2004
年、37歳で当時最年少創業社長
として東証1部に上場。JAPAN
VENTURE AWARD
2006で最高位、経済産業大臣賞
を受賞。46歳。大阪府出身。

こだ。自分でももしろい、やり
たいと思って、決めたら本気で
立ち向かっていけると感じるこ
とが感性だ。やる気と本気は違
う。やる気のあるヤツなんか、
いっぱいいる。本気で取り組む
ことが大切だ。

社会人ってプロのことなん
だ。マー君（米大リーグ、ヤン
keesの田中将大投手）は、高
校野球で活躍したあと、プロに
なった。初めてプロのマウンド
に立つと、さっそく相手のバッ
ターはスーパースターだ。その
ときマーくんは「ほく新人で



「成功者とは成長者だ」と語るネクシィーズの近藤太香巳社長

ず」って気持ちで投げたと思
うか。違う。プロとして、絶対三
振を取ってやると真っ向から投
げたんだ。

いいかみんな。社会人になっ
たら、「新人」って言葉を使う
な。使うのは「プロ1年目」
だ。その、本気が大事だ。

夢は逃げない。逃げるのはい
つも自分。そう言う学生が、
「僕、夢ないんです」って言
う。最初から大きな夢である必
要なんかない。今、目の前のこ
とにベストを尽くす。それに尽

きるんだ。

未来は今、今、今の連続で
きている。今、目の前のことで
活躍しなかったら、将来、大き
なことで活躍する可能性は低い
ぞ。みんなから見たら、私は成
功者に見えるかもしれない。私
もかつて、いろんな経営者をそ
う思っ見ていた。でもあると
き気付いたんだ。成功者も、最
初から成功していたわけじゃな
い。0があり1があり2があっ
て成長していった。つまり、成
功者とは成長者なんだ。

みんなも、今の時点で自分の
可能性に限界を決めつけたらだ
め。向き不向きではなく、目の
前のことに本気で取り組んでほ
しい。

近藤社長は公私の成功体験や
失敗談を織り交せて1時間にわ
たり講演、その後塾生からの質
問に全て応じた。塾生も真剣に
耳を傾け、ペンを走らせてい
た。講演中には感動した学生が
涙をぬぐう姿も見られた。

■会社概要

- ▷本社＝東京都渋谷区桜丘町
20-4 ネクシィーズ ス
クエアビル
- ▷設立＝1990年2月21日（創
業＝87年5月）
- ▷資本金＝23億2358万円
- ▷事業内容＝ライフアミニテ
ィー事業、ソリューション
サービス事業、文化教育事
業